

地域再生計画(污水处理施設整備交付金)事後評価調書

都道府県名	京都府	事業実施主体	京都府と謝那伊根町	地域再生計画名	伊根町「人が生き生き」生活環境再生計画
計画期間	平成22年度～平成26年度	評価責任者	伊根町地域整備課課長 白須 剛		

①再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績				
	指標1	伊根町の汚水処理人口普及率	17.9%	H20	-	-	-	60.0%	H27	69.1%	○	汚水処理施設整備交付金により、伊根地区については漁業集落排水事業の整備を、その他の地区については合併浄化槽の設置を進めることで目標を達成した。
	指標2											
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1											
	指標2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量(その他の事業では取組内容)			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度	最終実績							
特別措置を適用して行う事業	漁業集落排水処理施設(整備延長、処理場)		8,620m 1か所	-	7,848.3m 1か所	他事業等で整備した延長が有ったため、整備延長を下回ったが整備区域の変更はなかった為事業目標は達成できた。						
	浄化槽(個人設置型)		20基	-	10基	広報等により普及活動を行ったが、設置数の最終実績は計画を下回った。浄化槽の設置は、町民からの申請に基づいて設置するものであり、対象となる地区が高齢化や核家族化により人口流出、景気の低迷により、申請件数が伸び悩んだものと考えられる。						
その他の事業	住民参加の伊根地区清掃作業		年に1度水路、道路、海岸の清掃活動を地区住民、事業所、行政が参加し清掃することによって衛生環境向上の意識改革を図る。			年に1度水路、道路、海岸の清掃活動を地区住民、事業所、行政が参加による清掃を行い衛生環境向上の意識改革を図ることができた。						
	広報・啓発活動事業		合併浄化槽の補助条件を住民に周知し生活排水処理の普及を図る。			浄化槽の設置が計画を下回ったため、引き続き広報・啓発活動を実施し浄化槽の普及に努める。						
計画外で独自に実施した事業	住宅改修助成事業		下水道への接続の推進を図るため、補助率20%、上限20万円の補助			下水道への接続推進に寄与できている。						
	供用開始後3年間は加入負担金を半額		1軒目の30万を15万、2軒目の15万を7.5万に軽減			下水道への接続推進に寄与できている。						
④評価方法	計画に記載の数値目標に対する最終実績について評価を行った。											
⑤事後評価の公表方法	伊根町のホームページに掲載											
⑥計画全体の総合評価	地域再生計画による汚水処理施設整備交付金を活用したことにより、伊根地区においては全域の整備が完了した。また、汚水処理人口普及率も目標を上回る実績となり、生活環境の整備を図ることができた。一方、浄化槽設置計画は目標を下回ったため引き続き啓発活動を行い、浄化槽設置の推進を行っていく。											
⑦今後の方針等	浄化槽設置計画は目標を下回っため引き続き啓発活動を行い、浄化槽設置の推進を行っていく。											